

インダー™フロアブル

園芸用殺菌剤

① 優れた予防効果

予防効果に加え、耐雨性、残効性に優れます。

② 同時防除ができる

開花期前後の処理で、モニリア病、黒星病、赤星病、すす点病、すす斑病の同時防除ができます。

③ 果実汚れが少ない

低濃度で散布でき、薬液による作物への汚れがほとんどありません。

りんごの
「赤星病」「褐斑病」
「黒点病」「すす点病」
「すす斑病」で希釈倍数
が変更となり、
幅広くお使いいただける
ようになりました。

「りんご」の病害防除には
インダーフロアブル。

園芸用殺菌剤

●適用病害と使用方法(抜粋)

*本剤およびフェンブコナゾールを含む農薬の総使用回数

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	使用回数*	使用方法
りんご	赤星病 うどんこ病、黒星病	5,000~12,000	200~700ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
	モニリア病	5,000				
	褐斑病、黒点病 すす点病、すす斑病	5,000~10,000				
なし	黒星病	5,000~12,000	200~700ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布
	赤星病	8,000~12,000				
	輪紋病	5,000				
	うどんこ病	5,000~10,000				
かき	炭疽病、うどんこ病、落葉病	5,000	200~700ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	
もも						
ネクタリン	灰星病、黒星病	5,000	200~700ℓ/10a	収穫前日まで	4回以内	
すもも						
あんず	灰星病	5,000	200~700ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内	
おうとう						
うめ	黒星病、すす斑病	8,000	200~700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	
ぶどう	黒とう病、うどんこ病 灰色かび病、褐斑病					
ブルーベリー	灰色かび病	5,000	200~300ℓ/10a	収穫14日前まで	1回	
りんどう	花腐菌核病、葉枯病			発病初期	5回以内	

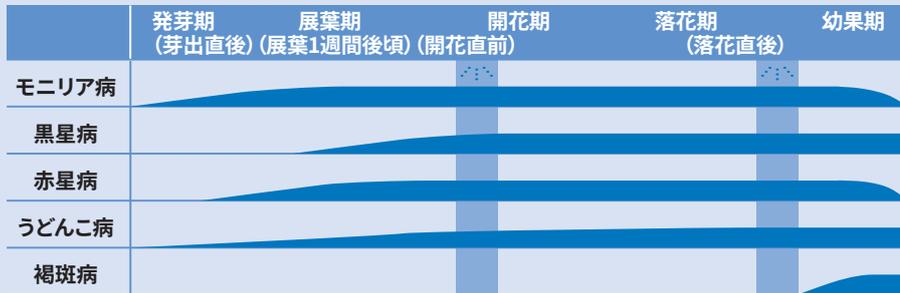
◎上記作物の他に茶にも適用があります。

詳しくは製品ラベルをご確認ください

●りんご病害の発病消長と防除適期

下表記載時期のいずれか1回の使用を推奨します。

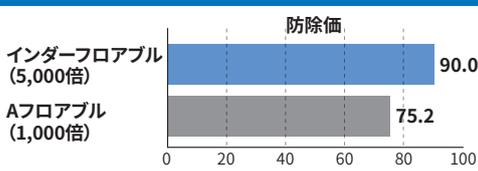
インダーフロアブルの防除適期



●使用上のポイント

- ◎インダーは、モニリア病に対し、葉腐れに高い効果を有する他、実腐れを予防する効果も兼ね備えています。このことから、インダー(5,000倍)を開花直前に散布することによって実腐れなどの実害を抑制できます。
- ◎インダーは、予防効果があり、残効性に優れているので薬剤散布の間隔が問題となる開花期前後の黒星病の防除に適しています。この時期の散布(希釈倍数は10,000倍)では、「赤星病」や「すす点病・すす斑病」なども同時防除することができます。

●モニリア病(実腐れ)に対する防除効果 (青森県りんご試験場 2000年)



品種:ふじ(19年生)
 発病:多発生
 散布:5月11日(開花直前)
 調査:6月7日に実腐れの有無

- 幅広い果樹に使える!
- 優れた予防効果と耐雨性!
- 低濃度でよく効く!

⚠ 使用上の注意

- ・貯蔵中に分離することがあるので、使用に際してはよく振ってください。
- ・使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- ・誤飲に注意してください。誤飲の場合には、吐き出させ、安静にして直ちに医師の手当を受けさせてください。
- ・散布の際は、保護メガネ、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

- ・本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- ・密栓し、食品と区別して、直射日光を避け、なるべく低温な場所に保管してください。
- ・蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

- 使用前には、ラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は、ほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2024年11月現在の知見に基づき、作成されています。